

**2nd Grand Canvas : AI品質の未来を共に描く
～AI品質マネジメントネットワーキングシンポジウム～**

**ポジショニング・トーク
「AI利用システム・品質アセスメント」の観点から**

2024.7.31

**パナソニックホールディングス株式会社
プロダクト解析センター
岡本 球夫**

自己紹介

名前：岡本 球夫（おかもと たまお）

所属：パナソニックホールディングス株式会社
プロダクト解析センター 課長

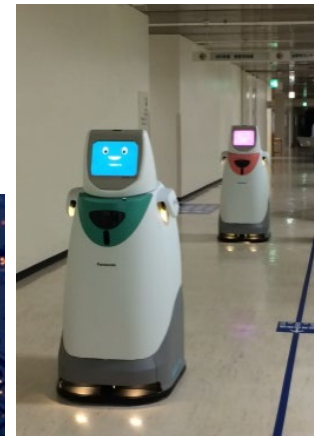
大阪大学
産業技術総合研究所
ISO/TC299/WG2, WG4
ISO/TC199/WG12

非常勤講師
特定集中研究専門員
Expert
Expert



主な経歴：ロボット・AIの開発・新規事業化

- ・ サービスロボットの開発・事業推進
- ・ AI安全品質技術開発・標準化
- ・ 予兆検知技術の開発・事業化



所属紹介

ブランドムービー



<https://www.youtube.com/watch?v=W8ejtPtIQbM>

機械学習品質マネジメントガイドラインとリファレンスガイド

体系的に定義

Rev. 3.2.1.0079 (2023/01/20)

機械学習品質マネジメントガイドライン

第3版
(Revision 3.2.1)

2022年8月2日

国立研究開発法人産業技術総合研究所

デジタルアーキテクチャー研究センター
テクニカルレポート DigiARC-TR-2022-05

サイバーフィジカルセキュリティ研究センター
テクニカルレポート CPSEC-TR-2022006

人工知能研究センター
テクニカルレポート

具体的な事例に適用

機械学習品質マネジメント
リファレンスガイド

国立研究開発法人
産業技術総合研究所

2022年8月23日 18:30 作成

機械学習品質マネジメント リファレンスガイド

2022年7月14日

国立研究開発法人産業技術総合研究所

デジタルアーキテクチャー研究センター
テクニカルレポート DigiARC-TR-2022-04

サイバーフィジカルセキュリティ研究センター
テクニカルレポート CPSEC-TR-2022005

人工知能研究センター
テクニカルレポート

© 2022 国立研究開発法人産業技術総合研究所

AI製品品質実現の全体構造

(図はAIQMガイドライン第4版より引用)

①システムがその全体として利用時に満たすことが期待される品質

②システムのうち機械学習で構築された構成要素が満たすことが期待される品質



③機械学習による構成要素が固有に持つ品質

4個の
利用時
品質

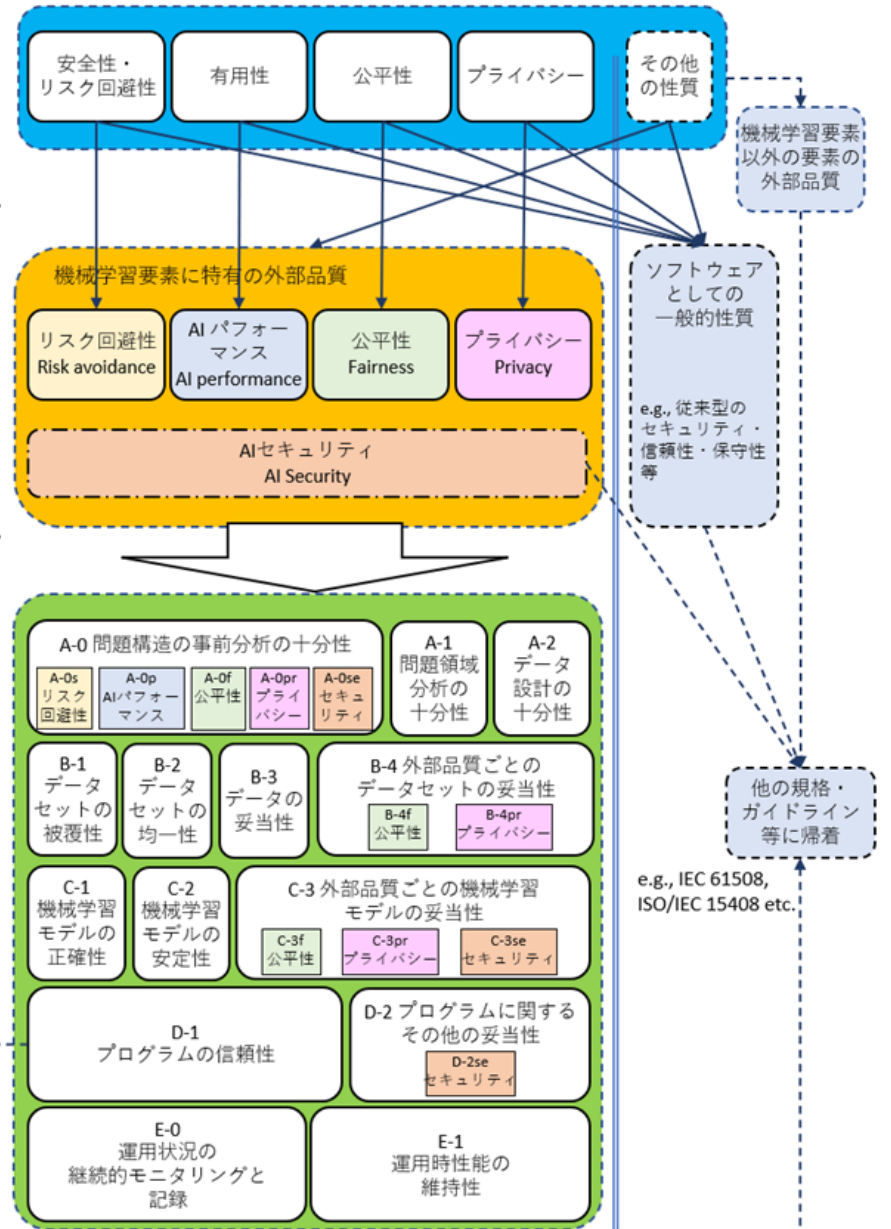
5個の
外部品質

14個の
内部品質

製品全体の
利用時品質
(例示)

機械学習要素の
外部品質
(§4)

機械学習要素の
内部品質
(§7, §8)



AIの品質特性と開発プロセスの対応づけ

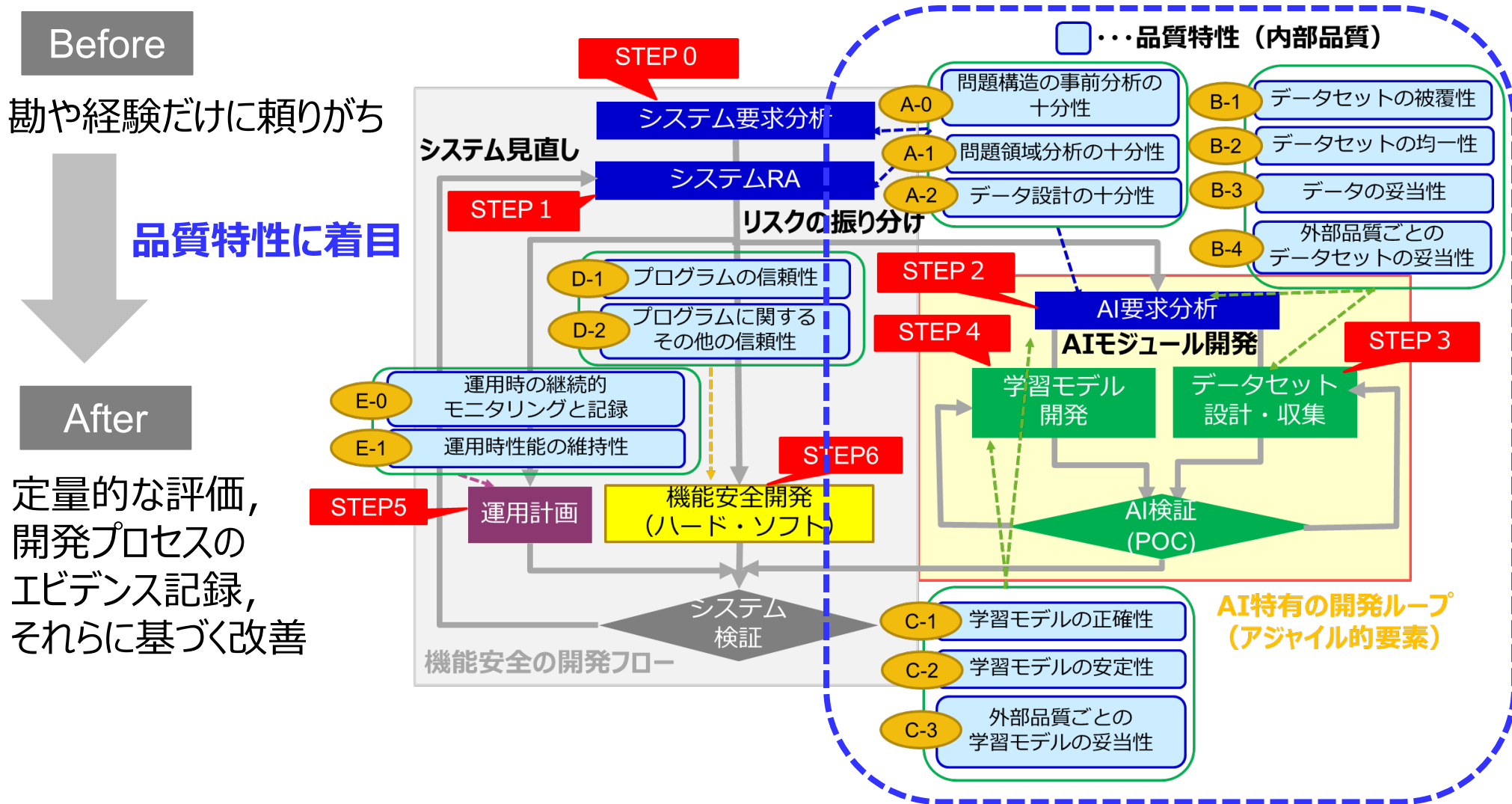
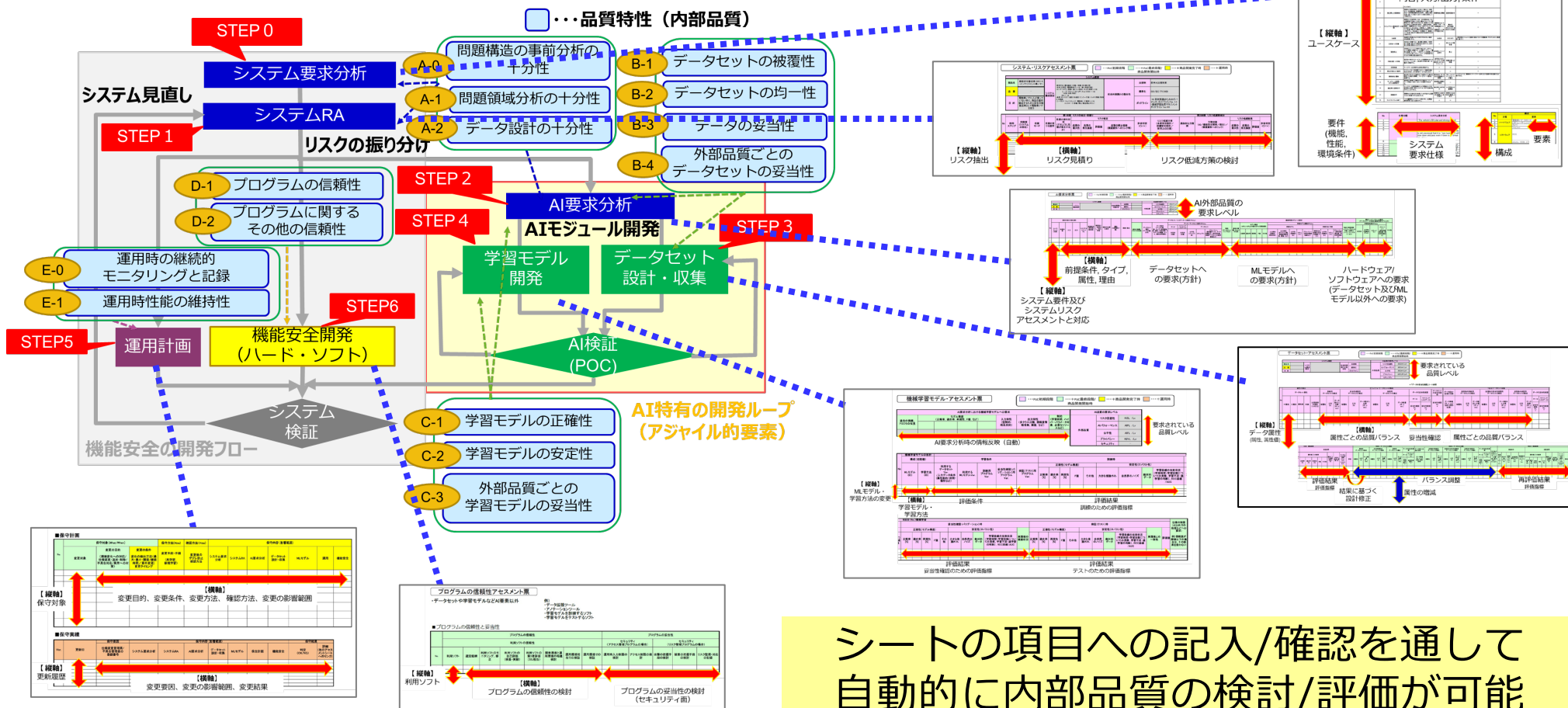


Fig. 開発プロセスとAIの品質特性 (内部品質)

AI利用システム・品質アセスメントシートとは？

定量的な評価、
開発プロセスの
エビデンス記録、
(それらに基づく改善)

を行うことが可能な、
各開発プロセス実施の支援ツールとして
プロセスごとにアセスメントシートを提供



パナソニックグループ ブランドスローガン

幸せの、チカラに。